

北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会設立総会 6市町村が連携し 県北横断道実現へ大きな一歩



北岩手・北三陸横断道路整備促進に向けた期成同盟会設立総会であいさつする鈴木町長と会場の様子



横断道は、八幡平市の東北自動車道西根インターチェンジ（IC）から野田村の三陸沿岸道路野田IC（仮称）をつなぐ構想。沿

北岩手・北三陸横断道路整備促進期成同盟会の設立総会は10月21日、グリーンテージで開催され、本町のほか同盟会を構成する久慈市、八幡平市、岩手町、普代村、野田村の6市町村の首長ら約70人が出席しました。

觸澤義美副町長が趣意書を読み上げ、普代村の榎屋伸夫村長の議事進行により、規約の内容について原案のとおり決定されました。また、会長に鈴木重男町長が就任。「北岩手・北三陸横断道路整備の早期実現に向け、一丸となって、全力で最善を尽くしていきたい」とあいさつしました。

岸北部と県都盛岡間の移動時間を短縮させることで、防災、医療、教育、観光など多面的分野の改善と充実に図り、安心で安全な住まいの生活の確保を目指すものです。総延長は約75キロを見込んでおり、西根ICと野田IC（仮称）を時速80キロで走行した場合、1時間ほどで移動できる想定。具体的な経路は今後検討を進めていきます。

東北自動車道と三陸沿岸道をつなぐ自動車専用道路の整備、さらには交流人口の拡大や産業振興の進展に向け、大きな一歩が踏み出されました。



期成同盟会を構成する本町を除く5市町村の首長ら（左から八幡平市、野田村、久慈市、岩手町、普代村）



「岩手県葛巻町のまちづくりに関する包括連携協定」を結んだ(左から)元持儀之社長、鈴木重男町長、元持雅行社長

町は盛岡市の岩手トヨタペット（株）（元持雅行代表取締役社長）、ネットトヨタ岩手（株）（元持儀之代表取締役社長）などトヨタグループ7社と「岩手県葛巻町のまちづくりに関する包括連携協定」を結び10月2日、盛岡市内のホテルで調印式が行われました。

この協定は、トヨタグループが取り組む「トヨタ地域貢献プロジェクト」の一環で、グループとして自治体のまちづくりを支援する連携協定の締結は、全国初。鈴木重男町長は「町の取り組みについて、情報を必要とする多くの方々に直接届けられる環境を構築していきたい」と期待を込めています。

人口減少対策や地方創生など、町が抱える課題の解決に向けたさまざまな取り組みのスタートとして、トヨタグループの（株）デッソンが提案する地域情報配信システム「ライフビジョン」を来年4月に運用開始予定。情報発信の充実を目指します。

全国初 地域課題の解決目指し 町がトヨタと連携協定

